

薬剤師国家試験出題基準の検討における論点（案）

1. 新たな出題基準の策定とその対象範囲

- ・新たに策定する出題基準は、6年制教育導入の基礎となった「薬学教育モデル・コアカリキュラム」及び「実務実習モデル・コアカリキュラム」の項目を基本とするが、追加すべきもの、削除すべきものはないか。

2. 出題基準の体系

- ・新たな出題基準においても、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」及び「実務実習モデル・コアカリキュラム」の項目について、現行の出題基準の体系を参考に、必要に応じて項目間の入れ替え等を適切に行ったうえで、「大項目」、「中項目」、「小項目」及び「小項目の例示」として整理することとするが、具体的には、どのような入れ替え等が適切か。
- ・科目（領域）毎の大項目及び中項目の整理については、別紙の案でいかがか。
- ・現行の出題基準と同様、出題に関する基本的考え方や問題作成に関する留意点等を記載することが望ましいが、記載すべき内容としてどのようなものがあるか。

3. 出題基準の見直し

- ・出題基準の見直しにあたって、社会的養成や医療の実情などに照らして、薬剤師国家試験を通じて確認すべきものや、薬剤師業務として定着し、医療の質の向上に貢献している内容などで、積極的に加えることが適当なものがあるか。

4. その他

(別紙)

出題基準における各科目(領域)の大項目及び中項目の整理(案)

科目(領域)	大項目	中項目
物理・化学・生物	C1 物質の物理的性質	(1)物質の構造
		(2)物質の状態Ⅰ
		(3)物質の状態Ⅱ
		(4)物質の変化
	C2 化学物質の分析	(1)化学平衡
		(2)化学物質の検出と定量
		(3)分析技術の臨床応用
	C3 生体分子の姿・かたちをとらえる	(1)生体分子を解析する手法
		(2)生体分子の立体構造と相互作用
	C4 化学物質の性質と反応	(1)化学物質の基本的性質
		(2)有機化合物の骨格
		(3)官能基
		(4)化学物質の構造決定
	C5 ターゲット分子の合成	(1)官能基の導入・変換
		(2)複雑な化合物の合成
	C6 生体分子・医薬品を化学で理解する	(1)生体分子のコアとパーツ
		(2)医薬品のコアとパーツ
C17 医薬品の開発と生産	(2)リード化合物の創製と最適化	
	C7 自然が生み出す薬物	(1)薬になる動植物
		(2)薬の宝庫としての天然物
(3)現代医療の中の生薬・漢方薬		
C8 生命体の成り立ち	(1)ヒトの成り立ち	
	(2)生命体の基本単位としての細胞	
	(3)生体の機能調節	
	(4)小さな生き物たち	
C9 生命をミクロに理解する	(1)細胞を構成する分子	
	(2)生命情報を担う遺伝子	
	(3)生命活動を担うタンパク質	
	(4)生体エネルギー	
	(5)生理活性分子とシグナル分子	
	(6)遺伝子を操作する	
C17 医薬品の開発と生産	(3)バイオ医薬品とゲノム情報	
	C10 生体防御	(1)身体をまもる
(2)免疫系の破綻・免疫系の応用		
(3)感染症にかかる		
衛生	C11 健康	(1)栄養と健康
		(2)社会と集団と健康
		(3)疾病の予防
C12 環境	(1)化学物質の生体への影響	
	(2)生活環境と健康	
薬理	C13 薬の効くプロセス	(1)薬の作用と生体内運命(薬の運命以外)
		(2)薬の効き方Ⅰ
		(3)薬の効き方Ⅱ

科目(領域)	大項目	中項目		
薬剤	C13 薬の効くプロセス	(1)薬の作用と生体内運命(薬の運命) (4)薬物の臓器への到達と消失 (5)薬物動態の解析		
	C16 製剤化のサイエンス	(1)製剤材料の性質 (2)剤形をつくる (3)DDS(薬物送達システム)		
病態と薬物治療	C14 薬物治療	(1)体の変化を知る (2)疾患と薬物治療(心臓疾患等) (3)疾患と薬物治療(腎臓疾患等) (4)疾患と薬物治療(精神疾患等) (5)病原微生物・悪性新生物と戦う		
	C15 薬物治療に役立つ情報	(1)医薬品情報 (2)患者情報 (3)テーラーメイド薬物治療を目指して		
法規・制度・倫理	C18 薬学と社会	(1)薬剤師を取り巻く法律と制度 (2)社会保障制度と薬剤経済 (3)コミュニティーファーマシー		
	C17 医薬品の開発と生産	(1)医薬品開発と生産のながれ (4)治験 (5)バイオスタティスティクス		
	ヒューマニズム	①生と死 ②医療の担い手としてのこころ構え ③信頼関係の確立を目指して		
	イントロダクション	①薬学への招待 ②早期体験実習		
実務	D1 実務実習事前学習	(1)事前学習を始めるにあたって (2)処方せんと調剤 (3)疑義照会 (4)医薬品の管理と供給 (5)リスクマネジメント (6)服薬指導と患者情報 (7)事前学習のまとめ		
		D2 病院実習	(1)病院調剤を实践する (2)医薬品を動かす・確保する (3)情報を正しく扱う (4)ベッドサイドで学ぶ (5)薬剤を造る・調べる (6)医療人としての薬剤師	
			D3 薬局実習	(1)薬局アイテムと管理 (2)情報のアクセスと活用 (3)薬局調剤を实践する (4)薬局カウンターで学ぶ (5)地域で活躍する薬剤師 (6)薬局業務を総合的に学ぶ